

新医薬品が薬価収載されましたのでお知らせいたします。

番号	薬効分類	区分	商品名	規格単位	薬価(円)	包装単位	製造販売	成分名	効能・効果	用法・用量	規制等	承認年月日	備考
1	119	内用薬	ベルソムラ錠15mg	15mg1錠	89.10	PTP100錠 (10×10)、500錠 (10錠×50)	MSD	スボレキサント	不眠症	通常、成人にはスボレキサントとして1日1回20mgを、高齢者には1日1回15mgを就寝直前に経口投与する。	処方	2014.9.26	新有効成分含有医薬品
			ベルソムラ錠20mg	20mg1錠	107.90	PTP100錠 (10×10)、500錠 (10錠×50)							
2	333	内用薬	リクシアナ錠60mg	60mg1錠	758.10	(プラスチックボトル) 100錠、(PTP) 100錠、140錠 (14錠×10)	第一三共	エドキシバン トシル酸塩水和物	非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制 静脈血栓塞栓症(深部静脈血栓症及び肺血栓塞栓症)の治療及び再発抑制	通常、成人には、エドキシバンとして以下の用量を1日1回経口投与する。 体重60 kg以下: 30mg 体重60 kg超: 60mg なお、腎機能、併用薬に応じて1日1回30mgに減量する。	処方	2014.9.26	新効能成分含有医薬品、新用量医薬品、新剤形医薬品
3	429	内用薬	アグリリンカプセル 0.5mg	0.5mg1カプセル	774.40	10カプセル/1シート (PTP)、1箱100カプセル入り (10カプセル×10シート)	シャイアー・ジャパン	アナグレリド塩酸塩水和物	本態性血小板血症	通常、成人にはアナグレリドとして1回0.5mgを1日2回経口投与より開始する。なお、患者の状態により適宜増減するが、増量は1週間以上の間隔をあけて1日用量として0.5mgずつ行い、1日4回を超えない範囲で分割して経口投与すること。ただし、1回用量として2.5mgかつ1日用量として10mgを超えないこと。	劇、処方	2014.9.26	新有効成分含有医薬品
4	429	内用薬	ボシュリフ錠100mg	100mg1錠	3,791.00	50錠 (PTP)	ファイザー	ボスチニブ水和物	前治療薬に抵抗性又は不耐容の慢性骨髄性白血病	通常、成人にはボスチニブとして1日1回500mgを食後経口投与する。なお、患者の状態により適宜増減するが、1日1回600mgまで増量できる。	劇、処方	2014.9.26	新有効成分含有医薬品

番号	薬効分類	区分	商品名	規格単位	薬価(円)	包装単位	製造販売	成分名	効能・効果	用法・用量	規制等	承認年月日	備考
5	617	内用薬	ブイフェンドドライシ ロップ2800mg	40mg1mL (懸濁後の内 用液として)	1,328.30	1瓶	ファイザー	ポリコナ ゾール	下記の重症又は難治性真菌 感染症 ・侵襲性アスペルギルス 症、肺アスペルギローマ、 慢性壊死性肺アスペルギル ス症 ・カンジダ血症、食道カン ジダ症、カンジダ腹膜炎、 気管支・肺カンジダ症 ・クリプトコックス髄膜 炎、肺クリプトコックス症 ・フサリウム症 ・スクドスポリウム症	・成人（体重40kg以上） 通常、ポリコナゾールとして初日は1回300mg を1日2回、2日目以降は1回150mg又は1回 200mgを1日2回食間に経口投与する。なお、 症状に応じて又は効果不十分の場合には、増量 できるが、初日投与量の上限は1回400mg 1日 2回、2日目以降投与量の上限は1回300mg 1 日2回までとする。 ・成人（体重40kg未満） 通常、ポリコナゾールとして初日は1回150mg を1日2回、2日目以降は1回100mgを1日2回 食間に経口投与する。なお、症状に応じて又は 効果不十分の場合には2日目以降の投与量を1 回150mg 1日2回まで増量できる。 ・小児（2歳以上12歳未満及び12歳以上で体 重50kg未満） ポリコナゾール注射剤による治療を行った後、 通常、ポリコナゾールとして1回9mg/kgを1 日2回食間に経口投与する。なお、効果不十分 の場合には1mg/kg ずつ増量し、忍容性が不 十分の場合には1mg/kg ずつ減量する（最大 投与量として350mgを用いた場合は50mg ず つ減量する）。 ただし、1 回350mg 1 日2 回を上限とする。 ・小児（12 歳以上で体重50kg 以上） ポリコナゾール注射剤による治療を行った後、 通常、ポリコナゾールとして1 回200mg を1 日2 回食間に経口投与する。なお、効果不十分 の場合には1 回300mg 1日2 回まで増量でき る。	劇、処方	2014.9.26	新用量医薬品、新剤形 医薬品

番号	薬効分類	区分	商品名	規格単位	薬価(円)	包装単位	製造販売	成分名	効能・効果	用法・用量	規制等	承認年月日	備考
6	625	内用薬	パニヘップカプセル 150mg	150mg1カプセル	2,812.00	28カプセル (プリスター4 カプセル×7)	MSD	パニプレビル	セログループ1 (ジェノタイプ I (1a) 又は II (1b)) のC型慢性肝炎における次のいずれかのウイルス血症の改善 (1) 血中HCV RNA量が高値の未治療患者 (2) インターフェロンを含む治療法で無効又は再燃となった患者	本剤は、ペグインターフェロン アルファ-2b (遺伝子組換え) 及びリバビリンと併用すること。 ・血中HCV RNA量が高値の未治療患者、あるいはインターフェロンを含む治療法で再燃となった患者に使用する場合： 通常、成人にはパニプレビルとして1回300mgを1日2回、12週間経口投与する。 ・インターフェロンを含む治療法で無効となった患者に使用する場合： 通常、成人にはパニプレビルとして1回300mgを1日2回、24週間経口投与する。	劇、処方	2014.9.26	新有効成分含有医薬品
7	113	注射薬	ミダフレッサ静注0.1%	10mg10mL1瓶	3,340	10バイアル	アルフレッサ ファーマ	ミダゾラム	てんかん重積状態	静脈内投与 通常、修正在胎45週以上(在胎週数+出生後週数)の小児には、ミダゾラムとして0.15mg/kgを静脈内投与する。投与速度は1mg/分を目安とすること。なお、必要に応じて1回につき0.1~0.3mg/kgの範囲で追加投与するが、初回投与と追加投与の総量として0.6mg/kgを超えないこと。 持続静脈内投与 通常、修正在胎45週以上(在胎週数+出生後週数)の小児には、ミダゾラムとして0.1mg/kg/時より持続静脈内投与を開始し、必要に応じて0.05~0.1mg/kg/時ずつ増量する。最大投与量は0.4mg/kg/時までとすること。	処方、向精神、習慣性	2014.9.26	新効能医薬品、新用量医薬品、新剤形医薬品
8	339	注射薬	ジーラスタ皮下注3.6mg	3.6mg0.36mL1筒	106,660	1シリンジ	協和発酵キリン	ベグフィル グラスチム (遺伝子組換え)	がん化学療法による発熱性好中球減少症の発症抑制	通常、成人にはがん化学療法剤投与終了後の翌日以降、ベグフィルグラスチム(遺伝子組換え)として、3.6mgを化学療法1サイクルあたり1回皮下投与する。	処方	2014.9.26	新有効成分含有医薬品

番号	薬効分類	区分	商品名	規格単位	薬価(円)	包装単位	製造販売	成分名	効能・効果	用法・用量	規制等	承認年月日	備考
9	392	注射薬	ホメピゾール点滴静注 1.5g「タケダ」	1.5g1瓶	137,893	1バイアル	武田薬品工業	ホメピゾール	エチレングリコール中毒、 メタノール中毒	通常、ホメピゾールとして初回は15mg/kg、 2回目から5回目は10mg/kg、6回目以降は 15mg/kgを、12時間ごとに30分以上かけ て点滴静注する。なお、血液透析を併用する場 合には、以下に従い投与する。 [透析開始時] 直前の本剤投与から6時間未満の場合は、透析 直前には投与しない。 直前の本剤投与から6時間以上経過している場 合は、透析直前に投与する。 [透析中] 透析開始時から4時間ごとに投与する。 [透析終了時] 直前の本剤投与から1時間未満の場合は、透析 終了時には投与しない。 直前の本剤投与から1時間以上3時間以内の場 合は、通常用量の1/2量を透 析終了直後に投与する。 直前の本剤投与から3時間超経過している場合 は、透析終了直後に投与する。 [透析終了後] 直前の本剤投与から12時間ごとに投与する。	処方	2014.9.26	新有効成分含有医薬品
10	421	注射薬	ザノサー点滴静注用1g	1g1瓶	42,531	バイアル	ノーベル ファーマ	ストレプト ゾシン	痔・消化管神経内分泌腫瘍	下記用法・用量のいずれかを選択する。 1. 5日間連日投与法：通常、成人にはストレ プトゾシンとして1回500mg/m ² （体表面 積）を1日1回5日間連日点滴静脈内投与し、 37日間休薬する。これを1サイクルとして投与 を繰り返す。 2. 1週間間隔投与法：通常、成人にはストレ プトゾシンとして1回1,000mg/m ² （体表面 積）を1週間ごとに1日1回点滴静脈内投与す る。なお、患者の状態により適宜増減するが、 1回の投与量は1,500mg/m ² （体表面積）を 超えないこと。	劇、処方	2014.9.26	新有効成分含有医薬品

番号	薬効分類	区分	商品名	規格単位	薬価(円)	包装単位	製造販売	成分名	効能・効果	用法・用量	規制等	承認年月日	備考
11	429	注射薬	マブキャンパス点滴静注 30mg	30mg1mL1 瓶	89,254	1mL×1バイアル	サノフィ	アレムツズマブ（遺伝子組換え）	再発又は難治性の慢性リンパ性白血病	通常、成人にはアレムツズマブ（遺伝子組換え）として1日1回3mgの連日点滴静注から開始し、1日1回10mgを連日点滴静注した後、1日1回30mgを週3回隔日に点滴静注する。ただし、投与開始から12週間までの投与とする。なお、患者の状態により適宜減量する。	生物、劇、処方	2014.9.26	新有効成分含有医薬品
12	131	外用薬	グラナテック点眼液0.4%	0.4%1mL	451.00	2.5mL×5本、 2.5mL×10本	興和	リパスジル塩酸塩水和物	次の疾患で、他の緑内障治療薬が効果不十分又は使用できない場合： 緑内障、高眼圧症	1回1滴、1日2回点眼する。	処方	2014.9.26	新有効成分含有医薬品
13	131	外用薬	タブコム配合点眼液	1mL	1,060.00	5mL×5本、 5mL×10本	参天製薬	タフルプロスト、チモロールマレイン酸塩	緑内障、高眼圧症	1回1滴、1日1回点眼する。	劇、処方	2014.9.20	新医療用配合剤
14	625	内用薬	コムブレラ配合錠	1錠	5,817.80	30錠（バラ、乾燥剤入り）	ヤンセンファーマ	リルビピリン塩酸塩/エムトリシタビン/テノホビルジソプロキシル fumarate	HIV-1感染症	通常、成人には1回1錠（リルビピリンとして25mg、テノホビルジソプロキシル fumarate 塩として300mg及びエムトリシタビンとして200mgを含有）を1日1回食事中又は食直後に経口投与する。	劇、処方	2014.11.18	新医療用配合剤

- ・薬価については官報をご確認下さい。
- ・承認時段階の情報につきましては、適宜、日本薬剤師会雑誌の日薬医薬品情報に掲載しておりますのでご参照下さい。

- ・薬価に関する情報は「官報」でもご確認下さい。
- ・承認に関する情報は「医薬品医療機器情報提供ホームページ」の新薬の承認に関する情報もご参照下さい。
- ・医薬品薬価マスターに関する情報は「診療報酬情報提供サービス」をご参照下さい。
- ・医薬品コードに関する情報は「薬価基準収載医薬品コード表(MEDIS-DC提供)」をご参照下さい。